

# コロンビア

# Republic of Colombia

	2010年	2011年	2012年
①人口:4,658万人(2012年)			
②面積:114万1,748km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP:8,127米ドル (2012年)			
④実質GDP成長率(%)	4.0	6.6	4.0
⑤消費者物価上昇率(%)	3.17	3.73	2.44
⑥失業率(%)	11.8	10.8	10.4
⑦貿易収支(100万米ドル)	1,559	5,358	5,067
⑧経常収支(100万米ドル)	△ 8,809	△ 9,525	△ 11,415
⑨純外貨準備高(100万米ドル, 期末値)	28,451	32,300	37,466
⑩対外債務残高(グロス)(100 万米ドル,期末値)	64,738	75,903	78,642
⑪為替レート(1米ドルにつき,コ ロンビア・ペソ,期中平均)	1,897.89	1,848.17	1,798.23

[出所] ①②④:国家統計局(DANE), ③⑨⑩:IMF, ⑤~⑧⑪:コロンビア中央銀行

2012年の実質GDP成長率は4.0%に達したが、四半期ごとの推移をみると減速傾向は否めない。消費は前年の勢いに達せず、コロンビア中央銀行は金融緩和措置として政策金利を3.25%まで引き下げた。製造業は前年比0.7%のマイナス成長となり、経済界は国内通貨高が国内産業に悪影響を与えていると警鐘を鳴らす。輸出の伸びは石油に牽引されたもので、工業製品では輸入の伸びの方が目立つ。対内直接投資額は史上最高の158億ドルを記録、金融業、製造業などで大きく伸びた。

## ■国内通貨高が製造業に悪影響

2012年の実質GDP成長率は4.0%と前年(6.6%)を下回った。2010年以降の四半期ごとの成長率(前年同期比)をみると、2011年第3四半期に7.9%とピークに達したが、以降は下降線をたどり、2012年第3四半期に2.7%まで落ち込んだ後、第4四半期に3.1%と少し上向いた。

2012年の民間最終消費支出は前年比4.3%増と、2010年(5.0%増)、2011年(5.9%増)の勢いには達せず、自動車などの耐久消費財需要も4.4%増にとどまった。消費に前年までの勢いがみられない背景には高金利の影響がある。2012年の平均貸出金利は12.6%と高水準が続いたため、コロンビア中央銀行は2013年3月26日、政策金利を3.25%に引き下げた。高金利による消費減退を食い止め、購買力を復活させて景気を上向かせる目的とみられる。

産業別にみると、高金利の影響もあり、金融・保険部門は前年比11.2%増の2桁成長を記録した。他方、製造業は国内通貨高の影響で0.7%減と、2011年の高成長(5.0%)から一転してマイナス成長に陥った。現地通貨コ

ロンビア・ペソの2012年の期中平均レートは1ドル当たり1,798ペソであり、10年前の水準(1ドル=2,508ペソ)と比較すると3割以上も割高な水準だ。コロンビア産業連盟(ANDI)のルイス・カルロス・ビジェガス会長は、輸出競争力を回復するためにペソ高の是正対策を講じることが2013年最大の課題であると指摘している。

## ■石油輸出が2桁の伸び

国家統計局(DANE)の輸出統計(2013年2月18日発表)によると、2012年の輸出額は606億6,700万ドルと前年比5.7%増加した。石油・同調整品が11.0%増の311億8,100万ドルと好調、石炭と合わせた鉱物性燃料(401億9,900万ドル、6.9%増)が輸出全体の66.3%、工業製品輸出額の約4倍に達した。

原油生産量の73%を占める東部平原での生産活動が順調に推移し、2012年の原油生産は日量94万4,119バレル(3.2%増)に達した。

工業製品は前年比4.8%増の104億1,300万ドルとなった。主要輸出品目は、鉄鋼・同製品(11億5,500万ドル、6.6%増)、原料プラスチック(9億7,800万ドル、1.9%増)、衣料品(7億300万ドル、8.2%増)、エッセンシャルオイル(6億8,100万ドル、8.2%増)など。自動車の輸出も39.5%増と大きく伸びた。

コーヒー輸出は天候不順による不作と

表1 コロンビア主要経済指標

	2011年	2012年	2012年				2013年
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
実質GDP成長率	6.6	4.0	5.3	5.0	2.7	3.1	2.8
民間最終消費支出	5.9	4.3	5.7	3.7	3.9	4.0	3.2
政府最終消費支出	3.6	5.1	4.0	4.8	5.2	6.5	4.6
国内総固定資本形成	18.7	6.0	7.2	12.3	1.6	3.4	3.7
財貨・サービスの輸出	12.9	5.3	9.1	4.0	6.8	1.4	△ 1.2
財貨・サービスの輸入	21.2	8.0	11.2	9.9	8.0	3.3	△ 0.2

[注] 四半期の伸び率は前年同期比。

[出所] 国家統計局(DANE)

表2 コロンビアの品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万ドル, %)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2011 年		2012 年			2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農林水産食料品	7,059	6,629	10.9	△ 6.1	農林水産食料品	5,720	6,395	10.9	11.8
コーヒー	2,641	1,956	3.2	△ 25.9	穀物	1,797	1,952	3.3	8.7
豆类・果実	942	942	1.6	△ 0.1	飼料	614	777	1.3	26.6
工業製品	9,938	10,413	17.2	4.8	工業製品	44,020	45,539	77.7	3.5
鉄鋼・同製品	1,084	1,155	1.9	6.6	自動車	6,925	6,908	11.8	△ 0.2
原料プラスチック	960	978	1.6	1.9	通信・音響映像機器	2,996	3,309	5.6	10.5
衣料品	650	703	1.2	8.2	一般産業機械	2,527	2,788	4.8	10.3
エッセンシャルオイル	630	681	1.1	8.2	鉄鋼・同製品	2,760	2,652	4.5	△ 3.9
鉱物性燃料	37,615	40,199	66.3	6.9	鉱物性燃料・鉱産物	4,818	6,608	11.3	37.1
石油・同調製品	28,085	31,181	51.4	11.0	石油・同調製品	3,831	5,655	9.6	47.6
石炭	8,397	7,805	12.9	△ 7.0	非鉄金属	781	736	1.3	△ 5.9
合計(その他含む)	57,420	60,667	100.0	5.7	合計(その他含む)	54,675	58,632	100.0	7.2

〔出所〕 国家統計局(DANE)

国際価格下落により19億5,600万ドルと前年比25.9%減少し、数量ベースでも39万5,517トン(8.3%減)まで減少した。

輸出を国・地域別にみると、米国(219億8,000万ドル、前年比横ばい)、EU27(90億5,100万ドル、2.1%増)、メキシコを除くラテンアメリカ統合連合(ALADI, 102億7,400万ドル、12.2%増、うちアンデス共同体が8.5%増の37億4,100万ドル)、中国(33億4,300万ドル、68.1%増)が主要仕向け先である。

中国は単独でアンデス共同体に並ぶ勢いで、輸出額の78.1%を石油などの燃料が占める。単独仕向け国3位のスペイン向けも(29億4,000万ドル、前年比70.9%増)、輸出額の91.5%は燃料だ。さらにベネズエラ(26億9,100万

ドル、54.7%増)、エクアドル(20億3,300万ドル、7.1%増)との貿易が活発化した。一方、南米南部共同市場(メルコスール)では、ブラジル向け(12億9,800万ドル、4.6%減)、アルゼンチン向け(2億8,800万ドル、4.3%減)が経済成長鈍化や輸入制限的措置などの影響を受けて減少した。日本向け(3億6,000万ドル、31.8%減)は輸出額全体の0.6%にすぎない。

### ■自動車の普及拡大により燃料輸入が急増

2012年の輸入は前年比7.2%増の586億3,200万ドルに拡大した。工業製品(原材料、中間財、完成品)が全体の77.7%を占めた(455億3,900万ドル、3.5%増)。内訳は、自動車(69億800万ドル、0.2%減)、通信・音響映像

機器(33億900万ドル、10.5%増)、一般産業機械(27億8,800万ドル、10.3%増)、鉄鋼・同製品(26億5,200万ドル、3.9%減)などとなった。

金利高騰の影響を受け新車販売台数は直近でわずかに減少したが、市場が年間30万台レベルに拡大するにつれガソリンなどの石油製品需要が拡大しており、石油・同調整品(56億5,500万ドル、前年比47.6%増)の輸入額が全体の9.6%を占めた。米国向けに原油を輸出した後、同国からガソリンなどの輸送機械用燃料の輸入を余儀なくされているため、国内精油所の供給能力増強が喫緊の課題だ。

輸入を地域別で見ると、北米

表3 コロンビアの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万ドル, %)

国名	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2011 年		2012 年		2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
北米 (NAFTA)	23,285	23,282	38.4	△ 0.0	20,612	21,557	36.8	4.6
米国	21,969	21,980	36.2	0.0	13,594	14,062	24.0	3.4
カナダ	614	467	0.8	△ 24.0	960	1,133	1.9	18.0
メキシコ	702	835	1.4	19.0	6,059	6,362	10.9	5.0
メキシコを除く ALADI	9,156	10,274	16.9	12.2	8,485	9,136	15.6	7.7
アンデス共同体	3,447	3,741	6.2	8.5	2,257	2,261	3.9	0.2
エクアドル	1,899	2,033	3.4	7.1	1,066	1,068	1.8	0.2
その他 ALADI	5,709	6,533	10.8	14.4	6,227	6,875	11.7	10.4
ベネズエラ	1,740	2,691	4.4	54.7	563	609	1.0	8.2
ブラジル	1,361	1,298	2.1	△ 4.6	2,740	2,796	4.8	2.0
アルゼンチン	301	288	0.5	△ 4.3	1,872	2,313	3.9	23.5
EU27	8,868	9,051	14.9	2.1	7,472	7,680	13.1	2.8
オランダ	2,524	2,503	4.1	△ 0.8	311	278	0.5	△ 10.7
スペイン	1,720	2,940	4.8	70.9	614	776	1.3	26.4
ドイツ	420	395	0.7	△ 5.8	2,215	2,317	4.0	4.6
アジア	2,517	3,703	6.1	47.1	9,614	11,219	19.1	16.7
中国	1,989	3,343	5.5	68.1	8,176	9,565	16.3	17.0
日本	528	360	0.6	△ 31.8	1,438	1,654	2.8	15.1
韓国	275	336	0.6	22.0	1,234	1,288	2.2	4.4
合計(その他含む)	57,420	60,667	100.0	5.7	54,675	58,632	100.0	7.2

〔注1〕 ラテンアメリカ統合連合(ALADI)は、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、チリ、コロンビア、キューバ、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ、ベネズエラが加盟。アンデス共同体は、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルーが加盟。

〔注2〕 再輸出を含む。

〔出所〕 国家統計局(DANE)から作成

表4 コロンビアのFTA等発効・署名・交渉状況

	FTA	コロンビアの貿易に占める 構成比(2012年)		
		往復	輸出	輸入
		(単位:%)		
発効済み	米国	30.2	36.2	24.0
	カナダ	1.3	0.8	1.9
	メキシコ	6.0	1.4	10.9
	アンデス共同体	6.7	6.6	6.8
	チリ	2.6	3.6	1.6
	メルコスール	8.6	7.1	10.1
	欧州自由貿易連合 (EFTA)	1.1	1.2	0.9
	中米北部3カ国	0.9	1.7	0.2
	合計	57.4	58.6	56.4
署名済み	EU27	14.0	14.9	13.1
	韓国	1.4	0.6	2.2
	コスタリカ	0.3	0.5	0.1
交渉中	日本	1.7	0.6	2.8
	パナマ	2.5	4.7	0.1
	イスラエル	0.6	0.9	0.3
	トルコ	0.8	1.3	0.3

[注1] 構成比については、輸出は再輸出を除く額、輸入は輸入総額を使用。

[注2] 中米北部3カ国:グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル。

[出所] 国家統計局(DANE)

自由貿易協定(NAFTA)加盟国(計215億5,700万ドル、前年比4.6%増)、メキシコを除くALADI加盟国(91億3,600万ドル、7.7%増)、EU27(76億8,000万ドル、2.8%増)、アンデス共同体(22億6,100万ドル、0.2%増)となり、米州諸国との取引が相対的に活発だった。国別では、米国(140億6,200万ドル、3.4%増)、中国(95億6,500万ドル、17.0%増)、メキシコ(63億6,200万ドル、5.0%増)、ブ

表5 コロンビアの主要国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>  
(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
南米	983	3,673	273.4	3,148	468	△ 85.1
チリ	651	3,074	372.4	1,229	51	△ 95.8
ブラジル	206	346	67.8	36	193	432.2
中米	663	720	8.5	648	1,597	146.5
パナマ	674	699	3.8	424	697	64.5
北米(NAFTA)	761	690	△ 9.4	2,469	659	△ 73.3
米国	507	472	△ 6.9	1,015	129	△ 87.3
カナダ	174	212	22.0	0	1	262.7
メキシコ	80	△ 2	-	1,454	529	△ 63.6
カリブ島しょ地域	△ 8	440	-	1,010	△ 3,264	-
アンギラ(英)	184	481	161.8	99	△ 2,247	-
アジア大洋州	38	82	118.6	3	1	△ 78.1
日本	10	28	190.5	2	0	△ 100.0
中国	12	16	29.4	0	0	115.0
韓国	3	14	426.1	-	0	-
欧州	1,938	△ 207	-	837	263	△ 68.6
スペイン	733	160	△ 78.1	327	△ 225	-
英国	390	574	46.9	312	378	21.2
オランダ	810	△ 2,021	-	4	△ 18	-
ドイツ	25	194	664.1	0	△ 13	-
その他地域	22	70	223.7	165	27	△ 83.3
利益再投資	3,957	4,979	25.8	-	-	-
石油部門	5,083	5,377	5.8	-	-	-
合計	13,438	15,823	17.8	8,280	△ 248	-

[注] 対内直接投資の国・地域別内訳は新規案件のみ。利益再投資、石油部門については、国・地域別分訳の発表がない。

[出所] コロンビア中央銀行(2013年4月16日発表)

ラジル(27億9,600万ドル、2.0%増)の順だった。

2012年5月にFTAが発効した米国からはガソリンなど精製燃料、ボイラー、一般機械が輸入額全体の43.3%を占めた。中国からは靴、玩具、衣料品、プラスチック品を含む生活用品などが輸入額の41.8%を占め、コロンビア伝統民芸品の中国製模倣品が国内市場に出回るなど知的財産権問題が発生した。メキシコからは自動車、音響映像機器などの電気・電子製品、精製燃料が輸入額全体の62.1%を占め、特に完成車は35%の関税がゼロになったことから2011年以降最大の輸入品目となっている。

韓国からの輸入額は前年比4.4%増の12億8,800万ドルで全体の2.2%を占めた。日本と韓国は常に自動車分野で競合しているが、2013年2月、韓国はコロンビアとのFTA署名を先行させた。日本からの輸入額は15.1%増の16億5,400万ドルで全体の2.8%を占めた。

## ■ FTA 網を拡大し、太平洋同盟をリード

コロンビアの最大の貿易相手であるNAFTA3カ国とのFTAは2012年までに全て発効した。2012年の3カ国向け輸出をみると、合計では前年比0.02%減と微減となった。一方、輸入は合計で4.6%増だった。期待された対米FTAだが、今のところFTAによる輸出拡大効果は表れていない。

EUとのFTAは、2012年6月26日にディアス・グラナドス商工観光相がベルギーのEU本部で署名を行い、現在、

双方の議会で批准審議中である。コロンビア下院では承認済みであり、上院での承認、大統領による裁可、憲法裁判所による審査を経て発効する。

コロンビアは2012年6月、チリ、メキシコ、ペルーとともに太平洋同盟を発足させ、加盟国間の貿易投資促進や経済発展、競争力強化のために財、サービス、資本、人の流れを円滑にするさまざまな取り組みを開始している。コロンビアは2013年5月23日にカリで開催された第7回首脳会議で議長国(1年ごとの持ち回り)となり、アジア太平洋諸国との経済関係強化も視野に入れ、4カ国の経済統合深化に向けた取り組みをリードしていく立場となった。

## ■ 製造業、金融業の対内直接投資が拡大

コロンビア中央銀行によると、2012

表6 コロンビアの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>  
(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
石油	5,083	5,377	5.8	763	△ 2,833	-
鉱業(石炭含む)	2,380	2,250	△ 5.5			
製造業	792	2,049	158.7	1,238	766	△ 38.1
運輸・倉庫・通信	1,689	1,727	2.2	△ 71	559	-
金融	343	1,722	402.8	3,949	759	△ 80.8
商業・外食・ホテル	2,311	1,601	△ 30.7	870	54	△ 93.8
電力・ガス・水道	380	819	115.3	1,401	310	△ 77.9
建設	430	244	△ 43.4	54	94	73.1
農林水産	156	108	△ 30.8	△ 3	△ 2	-
その他	△ 126	△ 73	-	78	45	△ 42.6
合計	13,438	15,823	17.8	8,280	△ 248	-

[出所] コロンビア中央銀行(2013年4月16日発表)

年の対内直接投資額(国際収支ベース)は前年比 17.8% 増の 158 億 2,300 万ドルと史上最高だった。2006 年以降、最大の投資分野はエネルギー・鉱業分野だが、2012 年も石油分野への直接投資が全体の 34.0% を占め、鉱業(石炭含む)を合わせると全体の 48.2% に及んだ。

2012 年の特徴として、製造業が 20 億 4,870 万ドル(前年比約 2.6 倍、構成比 12.9%)、金融業が 17 億 2,230 万ドル(約 5 倍、10.9%)と大幅に拡大した。運輸・倉庫・通信も 17 億 2,660 万ドル(2.2%増、10.9%)と堅調だった。一方、商業・外食・ホテルは 16 億 130 万ドル(30.7%減、10.1%)と減少しており、景気の一段落による個人消費の不服感を反映したとみられる。

2012 年の対内直接投資を主要地域別にみると、首位が南米(36 億 7,250 万ドル、前年比 3.7 倍、構成比 23.2%)、次いで中米(7 億 1,990 万ドル、8.5%増、4.5%)、北米(NAFTA、6 億 8,980 万ドル、9.4%減、4.4%)の順。

国別の特徴としては、欧州が 2 億 680 万ドルの引き揚げ超となったが、これはオランダの引き揚げ超(20 億 2,130 万ドル)とスペインの大幅減(1 億 6,010 万ドル、78.1%減)が影響したもので、英国(5 億 7,350 万ドル)など他の欧州

諸国の投資はおおむね堅調だった。

一方、チリ(30 億 7,390 万ドル、約 4.7 倍)が最大の投資国となった。NAFTA では、米国(4 億 7,230 万ドル、6.9%減)、カナダ(2 億 1,200 万ドル、22.0%増)、メキシコ(160 万ドル引き揚げ超)など目立った動きはみられない。アジア大洋州からの投資は 8,240 万ドル(約 2.2 倍)に増加し、うち主要国は日本(2,840 万ドル)、中国(1,610 万ドル)、韓国(1,440 万ドル)などだった。

直近の主要投資事例をみると、チリの金融機関コルプバンカによる地場中堅エルム銀行の買収(投資額:12 億 7,800 万ドル)が、同じくチリの小売り・流通大手センコスッドがフランス系小売り大手カルフルの Colombia 国内小売店舗の営業を譲渡(26 億ドル)など、チリ資本による大型 M&A 案件が目立つ。

その他の大型案件としては、パシフィック・ルビアーレス・エナジー(石油開発)、グラン・ティエラ(石油開発)、グラン・コロンビア・ゴールド(鉱業)などカナダ系企業の鉱業・エネルギー分野への投資が相次いだ。

ショッピングセンター・通信・娯楽など個人消費に直結する分野への投資もみられ、ポルトガルのジェロニモ・マルティンス(小売り)、チリのプラサ・ホールディング(興行)、米国のシネマーク(映画興行)などの案件がある。

### ■金融・保険大手グループ・スーラが積極展開

2012 年の対外直接投資動向をみると、コロンビア中央銀行統計史上初めて 2 億 4,790 万ドルの引き揚げ超過となり、過去最大だった 2011 年の状況から一変した。製造業(7 億 6,640 万ドル、前年比 38.1%減)、金融(7 億 5,880 万ドル、80.8%減)、電力・ガス・水道(3 億 990 万ドル、77.9%減)などの分野で軒並み減少した。石油・石炭開発

表7 コロンビアの主な対内直接投資案件(2012年4月~2013年4月)

(単位:100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
小売り	センコスッド	チリ	2012年10月18日	2,600	コロンビア国内の仏系カルフル店舗を約 26 億ドルで買収する。2013 年から「ジュンボ」ブランドとして旧カルフル店舗を引き継ぐ。
金融	コルプバンカ	チリ	2012年9月10日	1,278	コロンビアのエルム銀行を 100%株式買収し、傘下に置くことを表明した。
石油開発	パシフィック・ルビアーレス・エナジー	カナダ	2013年1月14日	1,200	原油生産量の 15~30%増を見据え、コロンビア投資を重点化している。
石油開発	グラン・ティエラ	カナダ	2012年12月17日	363	コロンビアを重要投資強化国と位置付け、生産量拡大に期待を寄せている。
小売り	ジェロニモ・マルティンス	ポルトガル	2013年2月27日	1億ユーロ	コロンビアのスーパーマーケット事業への参入を発表。
鉱業	グラン・コロンビア・ゴールド	カナダ	2013年1月30日	100	新鉱脈の発見や物流インフラ整備のための投資計画。
興行	プラサ・ホールディング	チリ	2013年1月24日	75	複合施設 Mall Plaza をカルタヘナにオープン、今後はマニサレスに拡大する計画。
映画興行	シネマーク	米国	2012年12月17日	20	中流階級をターゲットに投資を推進。国内に八つの映画館を新設。

[出所] 貿易投資観光促進機構(Proexport)資料

表 8 コロンビアの主な対外直接投資案件(2012年4月～2013年4月)

(単位:100万ドル)

業種	企業名	投資国・地域	時期	投資額	概要
鉱業	ミネロス	ニカラグア	2013年4月27日	95	国際化戦略の一環としてニカラグアのエムコ(ニカラグア国内シェア10位)の90%買収を発表。
保険	グルーポ・スーラ	ペルー	2013年4月24日	514	系列子会社の一つであるスーラ・アセット・マネジメントを通じてBBVA AFP Horizonte 株を50%取得すると発表。
塗装	グローバル・ピントウーラ	中米6カ国	2012年5月8日	120	中米全域に進出している米国資本 Kativo グループを買収。
食品	ストウレサ	パナマ、 コスタリカ	2012年12月31日	110	パナマ資本の食品製造 AFC の100%買収とコスタリカのアイスクリーム製造 Pops を系列子会社化。
通信インフラ	インテルネクサ	ブラジル	2012年4月29日	150	5年間でブラジルの通信サービス市場シェア21%を見込む。
石油	エコペトロール	米国	2013年4月29日	n.a.	系列子会社であるエコペトロール・アメリカを通じ、メキシコ湾に位置するGunflintの採掘権を取得。

[出所] 貿易投資観光推進機構(Proexport)資料および現地紙報道(ポルタフオリオ紙など)

を中心とする鉱業は2008年から2010年まで最大の対外直接投資分野だったが、2012年は28億3,280万ドルの大幅な引き揚げ超となった。

主要地域別にみると、首位の中米(15億9,730万ドル、前年比約2.5倍)を除き、北米(6億5,940万ドル、73.3%減)、南米(4億6,810万ドル、85.1%減)、欧州(2億6,280万ドル、68.6%減)で軒並み減少した。目立った対外投資先としては、パナマ(6億9,730万ドル、64.5%増)、エルサルバドル(3億5,420万ドル、32.0%増)など近隣中米諸国向けだった。

2012～13年における対外直接投資の具体的事例では、金融・保険大手のグルーポ・スーラによるペルーの年金基金運営会社の買収(投資額5億1,400万ドル)が挙げられる。グルーポ・スーラは、2011年にオランダ大手金融グループINGの中南米拠点の営業資産を36億ドル超で取得したのを契機に中南米で事業を大きく拡大している。そのほか、ブラジル向け投資ではインテルネクサ(通信インフラ、1億5,000万ドル)、中米向けではグローバル・ピントウーラ(塗装、1億2,000万ドル)およびストウレサ(食品、1億1,000万ドル)による案件など現地消費市場拡大の機会をにらんだ買収が目立った。エネルギー分野では、エコペトロール(石油)によるメキシコ湾(米国側)での採掘権取得、ミネロス(鉱業)によるニカラグアの鉱山大手(主とし

て金採掘)の買収(9,540万ドル)などが挙げられる。

### ■EPA交渉の加速に期待

2012年の対日輸出額は前年比31.8%減の3億6,024万ドルにとどまり、輸出額全体の0.6%を占めるにすぎない。対日輸出額の約7割を占めるコーヒー、石炭、フェロニッケルなどの伝統産品は42.6%減の2億4,897万ドルと大幅に落ち込んだ。中でも対日輸出の約6割を占めるコーヒーの国際価格下落が影響した。カーネーションなどコロンビア特産の花きは5,605万ドル(10.3%増)、日本での展示会への出展等が功を奏し順調に伸びた。

対日輸入額は前年比15.1%増の16億5,410万ドルで輸入額全体の2.8%を占めた。一般産業機械(11.5%増)、金属製品(38.1%増)、基礎化学品(29.8%増)、自動車産業(0.2%増)が堅調に推移した。

2012年の日本からコロンビア向けの直接投資は前年比2.9倍の2,840万ドルに達した。トヨタ自動車による国内販売の強化(拡張投資、規模1,000万ドル)、富士フイルムホールディングスによるデジタルカメラ販売拠点設立などの事例が挙げられる。2013年5月時点、コロンビア進出日系企業は約40社であり、治安改善と経済成長の持続による消費市場拡大を受け、企業数、駐在員数は増加傾向にある。

表 9 対日主要品目別輸出入動向 <通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2011年		2012年			2011年		2012年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
伝統産品	433.4	249.0	69.1	△ 42.6	一般産業機械	531.3	592.7	35.8	11.5
コーヒー	351.0	214.5	59.6	△ 38.9	素材産業	431.2	580.0	35.1	34.5
石炭	46.7	23.4	6.5	△ 49.9	金属製品	250.2	345.5	20.9	38.1
フェロニッケル	35.7	11.0	3.1	△ 69.1	基礎化学品	179.9	233.5	14.1	29.8
その他主要産品	55.7	61.3	17.0	10.0	自動車産業	452.8	453.6	27.4	0.2
花き	50.8	56.0	15.6	10.3	乗用車	239.3	274.5	16.6	14.7
農牧産業	18.7	16.6	4.6	△ 11.1	軽工業	19.0	22.3	1.3	17.2
素材産業	12.3	24.7	6.9	101.6	プラスチック製品	6.4	7.2	0.4	11.3
化学製品	12.1	22.8	6.3	87.8	その他軽工業	6.9	7.1	0.4	3.6
軽工業	3.8	4.3	1.2	14.2	農林水産品	1.4	1.5	0.1	7.5
合計(その他含む)	528.0	360.2	100.0	△ 31.8	合計(その他含む)	1,437.7	1,654.1	100.0	15.1

[出所] 商工観光省

二国間経済関係強化のための切り札として、日本とコロンビアの間のEPA交渉の進展に期待が高まっている。同交渉は2012年12月に東京で第1回、2013年5月にカリフォルニアで第2回交渉が行われた。